

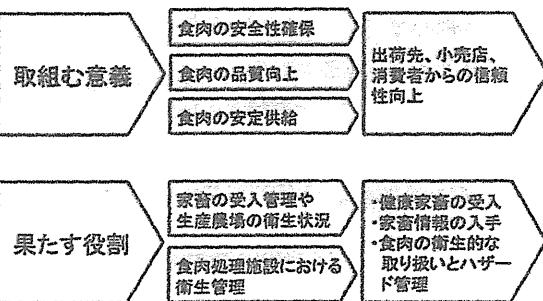
学習目標9

HACCP構築と運用イメージ

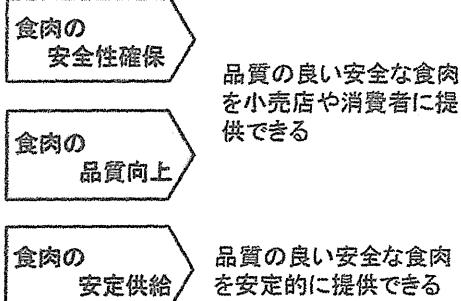


各課題の実施状況
各課題の実施状況

HACCPに取組む意義と果たす役割



HACCPに取り組む意義



消費者・小売店の信頼確保

HACCPの果たす役割

家畜の受入管理や生産農場の衛生管理状況の把握	健康な家畜の受入	疾病や予防方法の履歴
	衛生管理情報の入手	清掃・洗浄・消毒履歴
	安全管理情報の入手	薬剤・注射針使用履歴

安全な家畜の受入

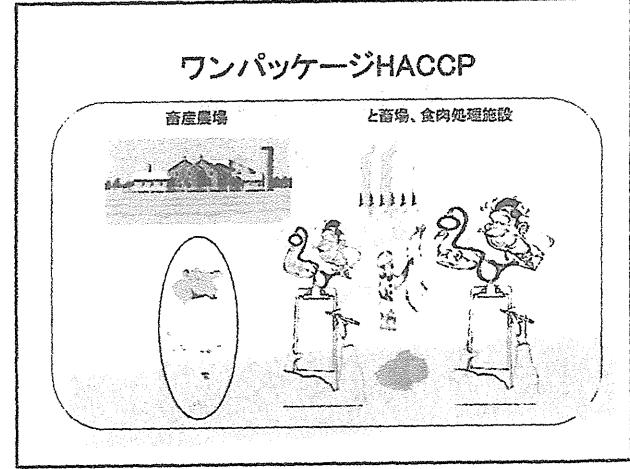
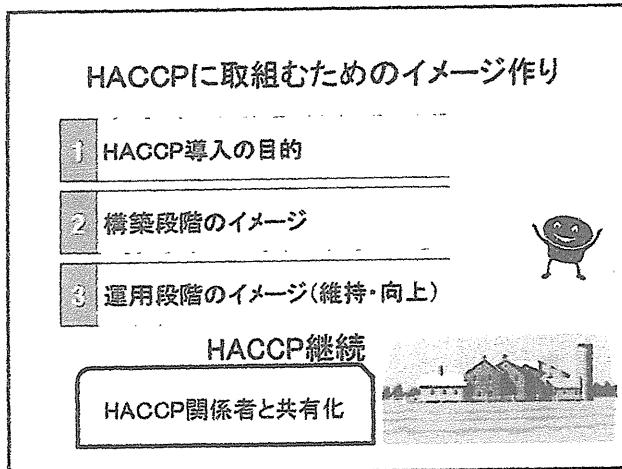
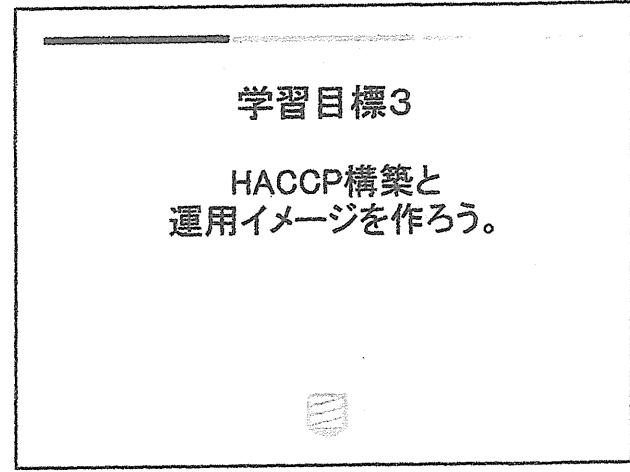
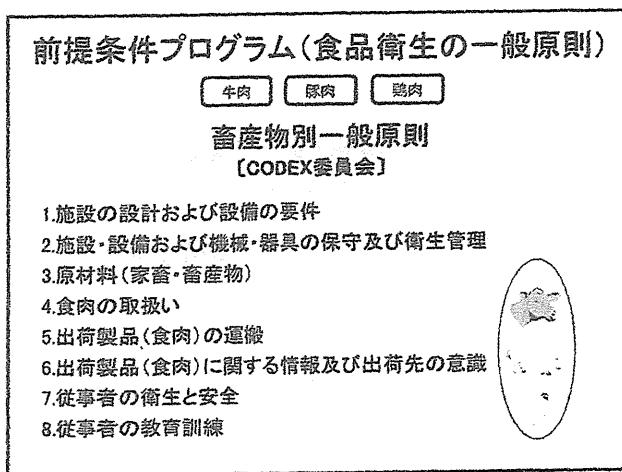
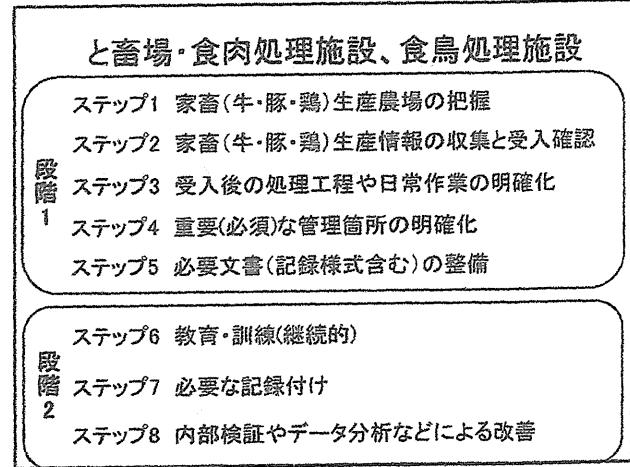
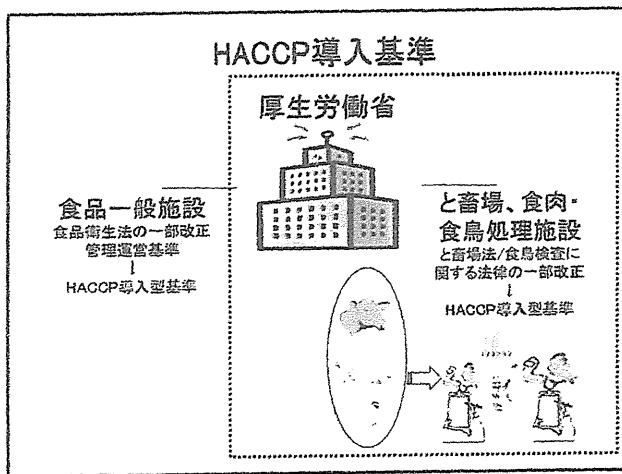
食肉処理施設での衛生管理

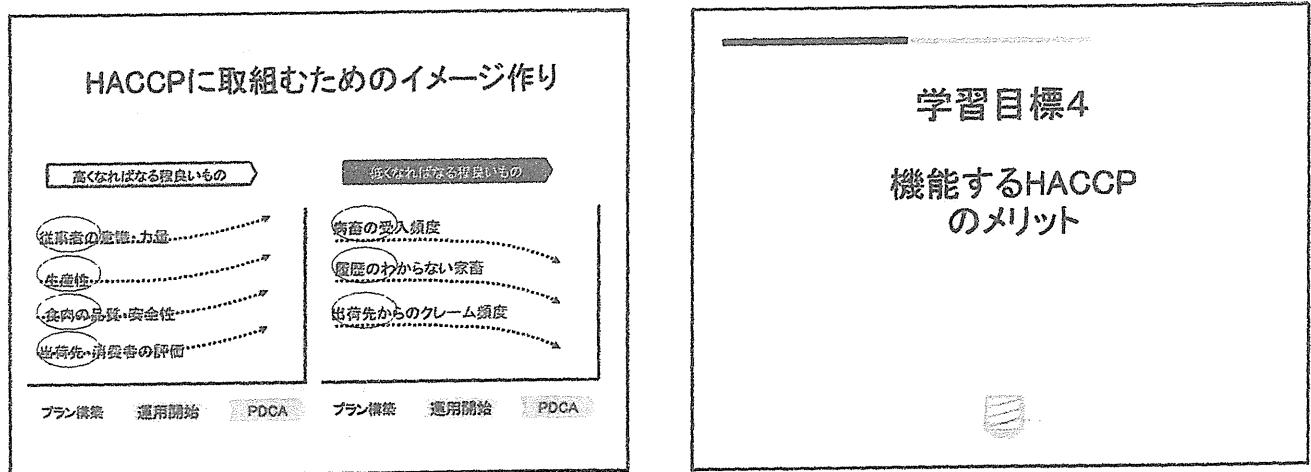
全従事者が果たす責任

学習目標2

HACCP導入型基準の概要を知ろう。

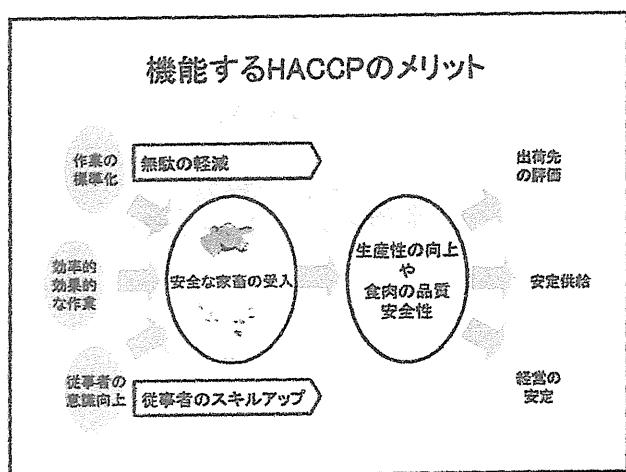






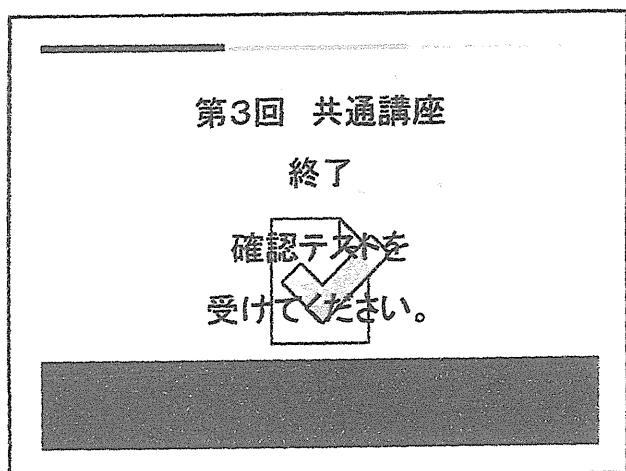
学習目標4

機能するHACCP のメリット



POINT

- **HACCPの意義と果たす役割**
食肉の安定供給と安全性の確保
- **厚生労働省が示すHACCP導入型基準**
HACCP導入型基準と食品衛生の一般原則(CODEX)
- **HACCP構築と運用**
イメージ作りとイメージの共有化
- **機能するHACCPのメリット**
機能することで、多くのメリットが生まれる



学習目標8

CODEX委員会が示すHACCP



HACCPとは

Hazard Analysis & Critical Control Point

Hazard 危害を起こす要因を

Analysis 分析し、

& そして、

Critical 欠かすことができないほど
必須で、

Control 予防、排除あるいは許容範囲まで減らすことができる、

Point 点

コーデックス委員会・HACCP適用のための12手順

段階1

- | | |
|-----|-----------------|
| 手順1 | HACCPチームを編成 |
| 手順2 | 製品について記述 |
| 手順3 | 意図する用途を明らかにする |
| 手順4 | フローダイアグラムの構築 |
| 手順5 | フローダイアグラムを現場で確認 |

段階2

- | | | |
|------|---|-----|
| 手順6 | 全ての潜在的危険要因を列挙して分析し、
そのコントロール手段を明確にする | 原則1 |
| 手順7 | COPを決定 | 原則2 |
| 手順8 | COPに対する許容限界を確立 | 原則3 |
| 手順9 | COPに対するモニタリングシステムを確立 | 原則4 |
| 手順10 | 是正措置を確立 | 原則5 |
| 手順11 | 検証方法を確立 | 原則6 |
| 手順12 | 文書化と記録付けを確立 | 原則7 |

段階3

段階4

OINT

□ 食の安全確保には、企業姿勢として重要な要件がある。

□ 安全と安心は同じではなく、安心=安全+信頼である。

□ HACCPとは、危害要因分析と必須コントロール点のこと。

□ 國際的なHACCPの基盤は、CodexとNACMCFのガイドライン。

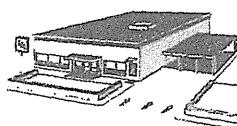


学習目標7

前提条件プログラム・SSOPの重要性を知ろう。

前提条件プログラム(PRPs)とは

立地・施設等インフラ、機器などのハードウェア



清掃と消毒等のオペレーション、従業員教育等のソフトウェア

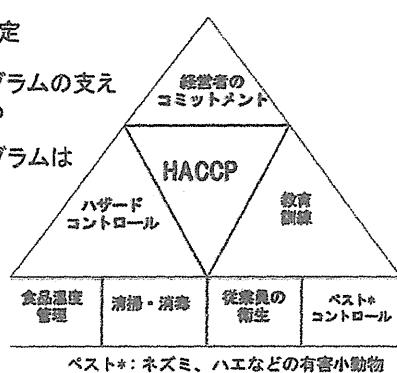


R. グラバーニのピラミッド

・HACCPは不安定

・前提条件プログラムの支えがないと倒れる

・前提条件プログラムはHACCPに必須



前提条件プログラム(PRPs)とHACCP

現場全体にわたるプログラム



HACCPとは大きく異なる

品質に関することが入ってもよい



従業員訓練は特に大切



前提条件プログラム(PRPs)とHACCPの比較

前提条件プログラム	HACCP計画
間接的	直接的
複数生産ライン	1ライン1製品
重要度が低いハザードを扱う	起きる結果が深刻なハザードを扱う
失敗は滅多にハザードにならない	逸脱は潜在的なハザード

前提条件プログラム(PRPs)に相当する衛生規範



カナダ Prerequisite Programs



米国(FDA)

cGMP (current Good Manufacturing Practice)



C O D E X 国連(Codex) Food Hygiene Basic Texts



日本(厚労省) 管理運営基準



International Standard Organization ISO 22002-1

SSOP作成と実施の重要性

(Sanitation Standard Operating Procedure :衛生標準作業手順)

標準化すべき衛生作業の手順を文書化したもの

標準化作業の手順



Sanitation SOP

↓
SSOP

文書化

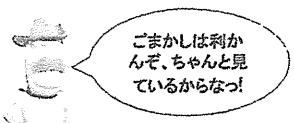
SSOPの項目

- ・作業の目的と注意点
- ・具体的な方法(概要と詳細)
- ・作業の頻度
- ・達成目標の基準とモニタリング
- ・手法の調整・是正措置の方法
- ・責任者
- ・記録
- ・成績の検証
- ・責任のある上司による認証

SSOP運用上のポイント

モニタリングとコントロール記録

上司、品管担当者
などが行う。



表に確認時刻、○×を記入

作業が不適当な場合、行った是正措置も記入。

SSOP運用上のポイント

記録の意義



事故原因追及
リコールに活用

記録見直しで
問題予知

記録しないのは、やらないのと同じ

SSOP運用上のポイント

是正措置

作業に不備、
不適切確認

清浄化、衛生化
不備は再作業で

食品汚染は廃棄

従業員の再教育



SSOP運用上のポイント

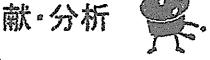
検証

正しさと遵守性を保証

目的達成



文献・分析



内容遵守



機器較正



O I N T

- 前提条件プログラム(PRPs)とHACCPの違いを確認。
- SSOP作成と実施の重要性を認識。
- SSOP運用上のポイント(監視、是正、検証等)を確認。



第1回 共通講座

終了

確認テストを
受けください。

共通講座

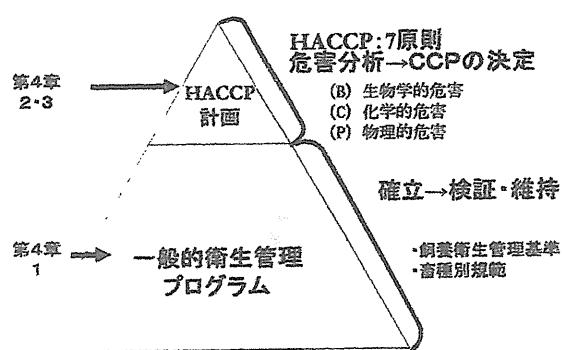
第2回

學習目標1

一般的衛生管理プログラム



一般的衛生管理プログラムとHACCP計画の体系



前提条件プログラム(食品衛生の一般原則)

一般衛生管理プログラム

【CODEX委員会】

- 1.施設の設計および設備の要件
- 2.施設・設備および機械・器具の保守及び衛生管理
- 3.原材料(家畜・畜産物)
- 4.製品の取扱い
- 5.出荷製品の運搬
- 6.出荷製品に関する情報及び出荷先の意識
- 7.従事者の衛生と安全
- 8.従事者の教育訓練

O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

- ・管理運営基準を基礎。
- ・食品衛生の一般原則、HACCPガイドラインに基づく。
- ・作業手順書、作業マニュアル等を用いる。
- ・規範を参考。
- ・一般的衛生管理プログラムの検証と修正



学習目標1

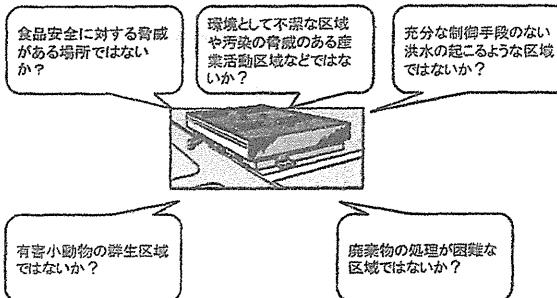
1.施設の設計及び設備の要件

1.施設の設計及び設備の要件

施設の設計や設備を整備することにより、食品ハザードの侵入、汚染防止を講じること。



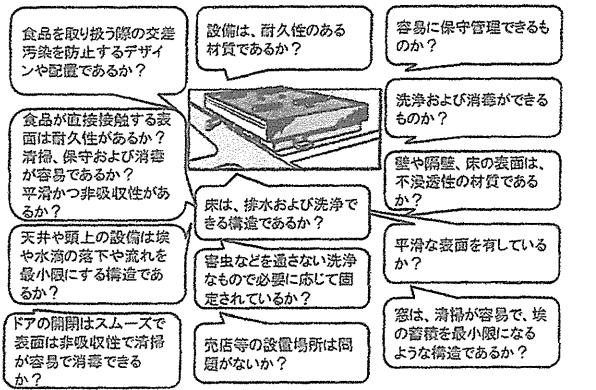
(1)立地の要件-施設



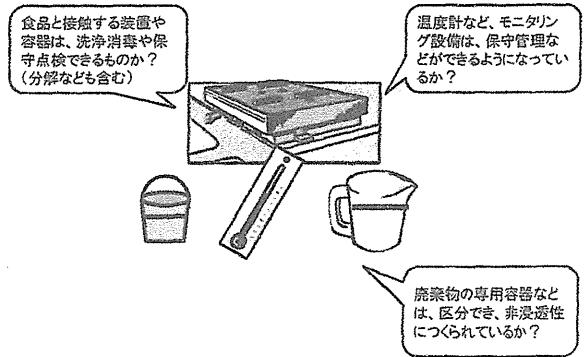
(1)立地の要件- 装置



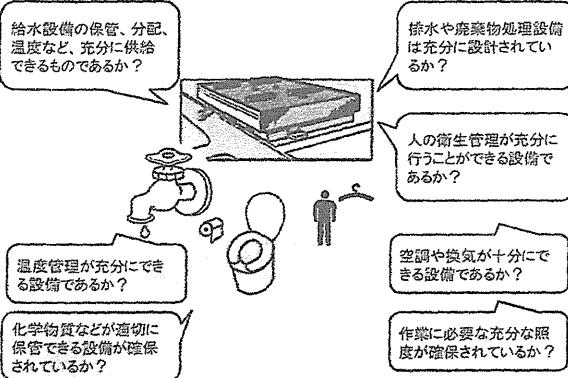
(2)施設の構内と室内



(3)装置



(4)設備



O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

=1.施設の設計及び設備の要件=

・立地の要件

・施設の構内と室内

・装置

・設備



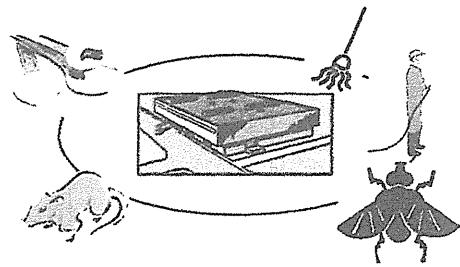
学習目標2

2.施設・設備の保守 及び衛生管理



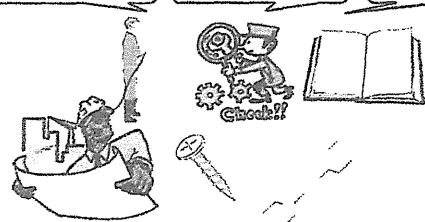
2.施設・設備の保守及び衛生管理

施設、設備を衛生的に保つために必要な保守管理や衛生管理が求められます。

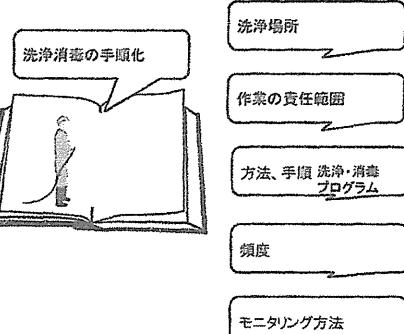


(1)一般的要件/清浄化の手順と方法

洗浄消毒の手順化 保守管理方法の確立 増物混入防止対策

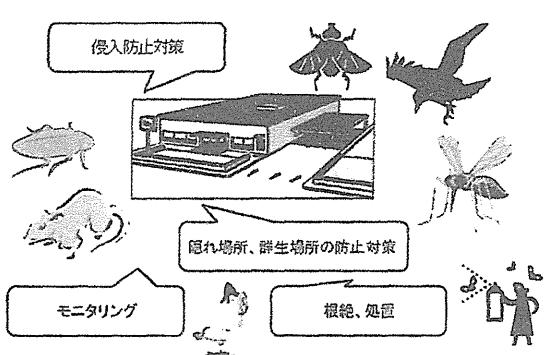


(2)清浄化プログラム



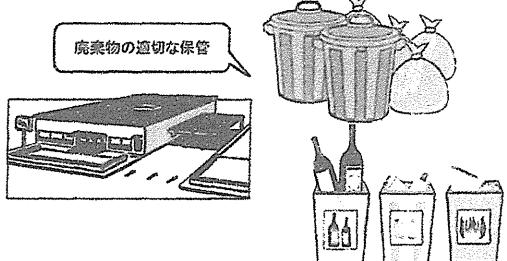
(3)有害小動物の管理システム

侵入防止対策



(4)廃棄物の取り扱い

廃棄物の適切な保管



(5)モニタリングの効果



O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

2.施設設備の保守及び衛生管理

- ・一般的要件/清浄化の手順と方法
- ・清浄化プログラム
- ・有害小動物の管理システム
- ・モニタリングの効果



学習目標1

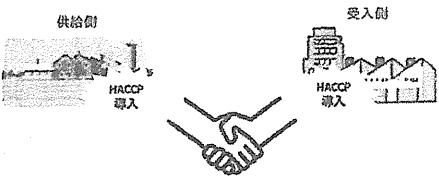
一般衛生管理プログラム
=原材料の管理=

3.原材料の管理

安全で良質な原材料の確保

衛生的な環境で

HACCPシステムを適用して生産



ワンパッケージHACCPの導入

原材料の供給 食品工場

経営者の責務

きれいな食品はきれいな原材料から

きれいな原材料は契約から

契約は経営者の責務



原材料の管理

原材料供給元

食品工場



供給者と一体となった危害に対する取り組み

原材料に由来する

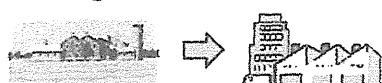
生物学的危害

化学的危害

物理的危害

(1)環境の衛生/原材料の衛生的生産

原材料由来の危害を考慮する。



原材料となる動物の健康を考慮することも必要。

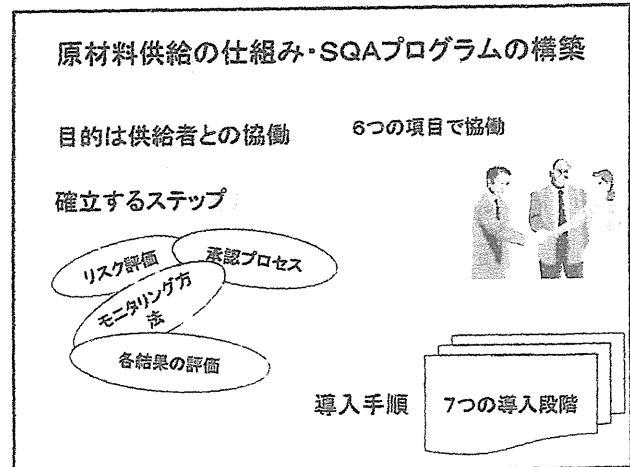
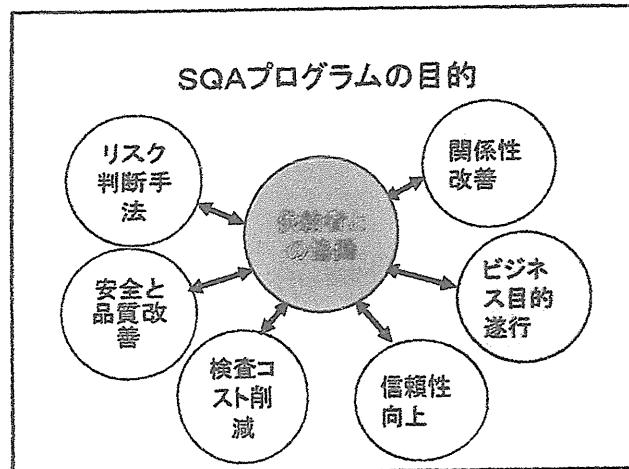
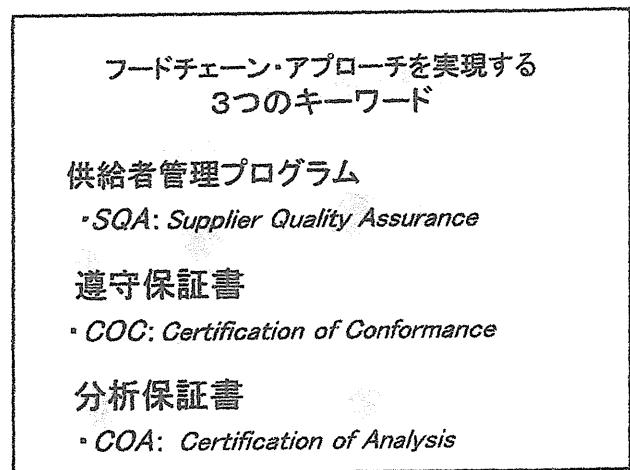
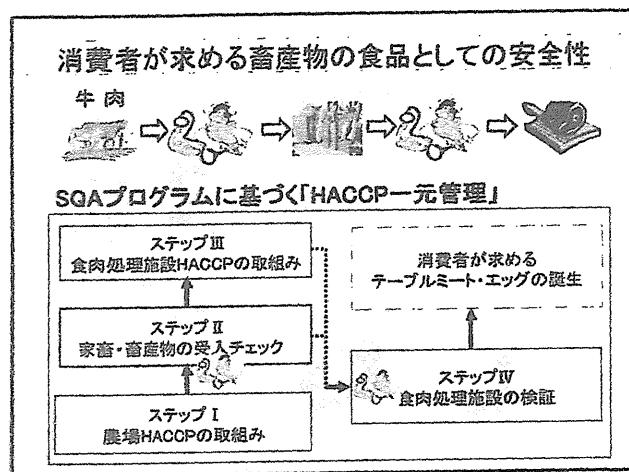
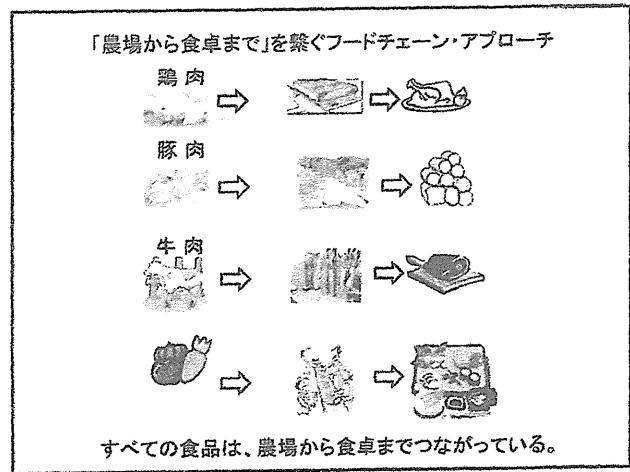
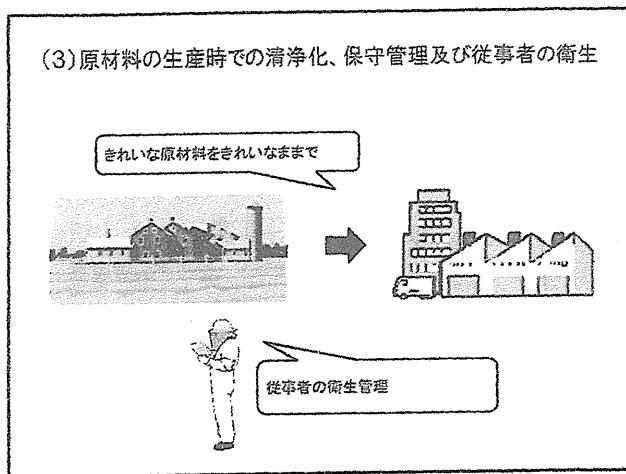
一次生産時の衛生的な取り扱いが重要。

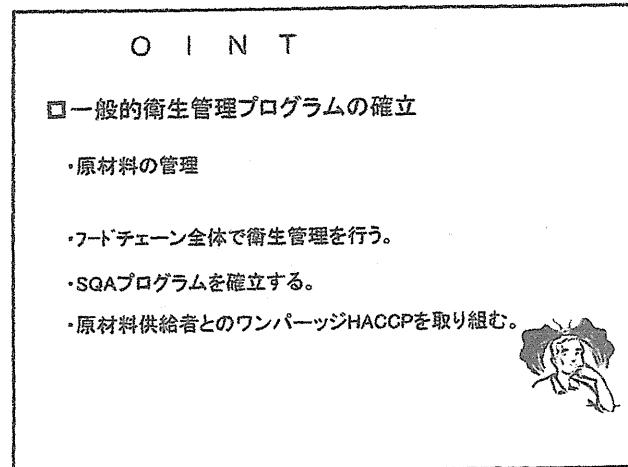
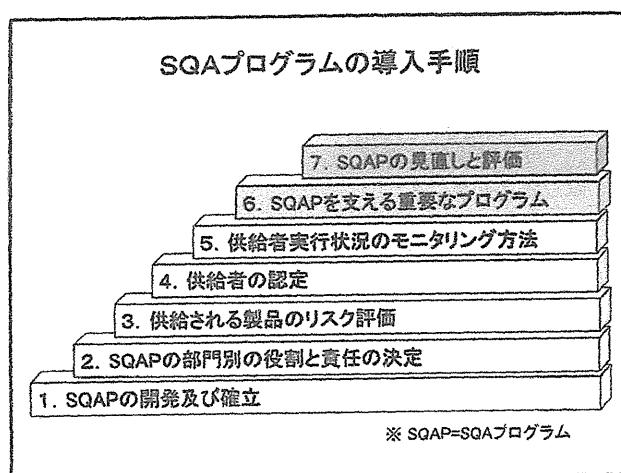
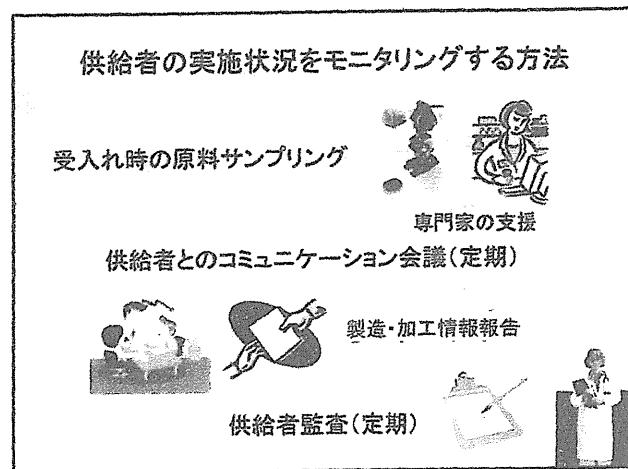
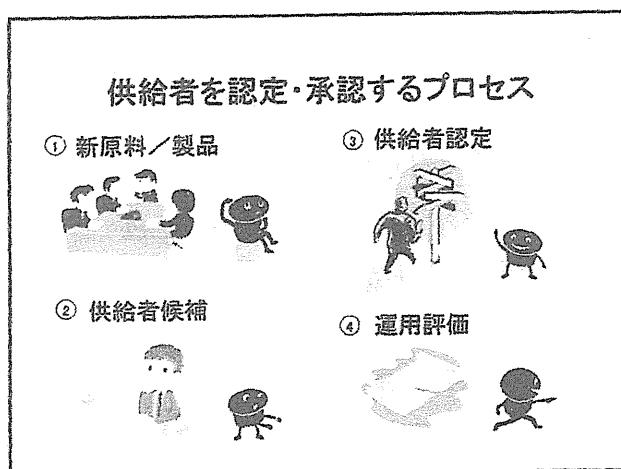
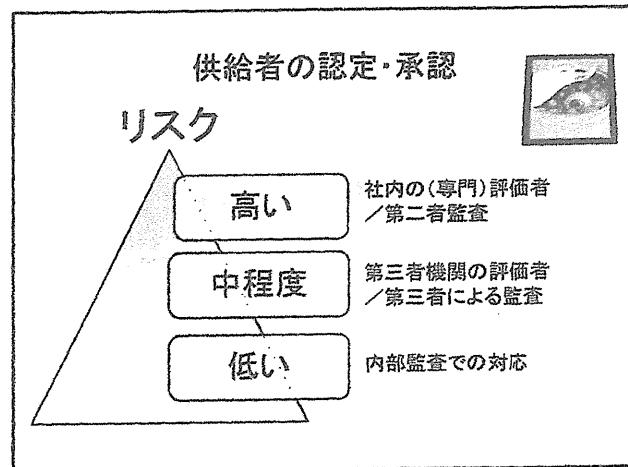
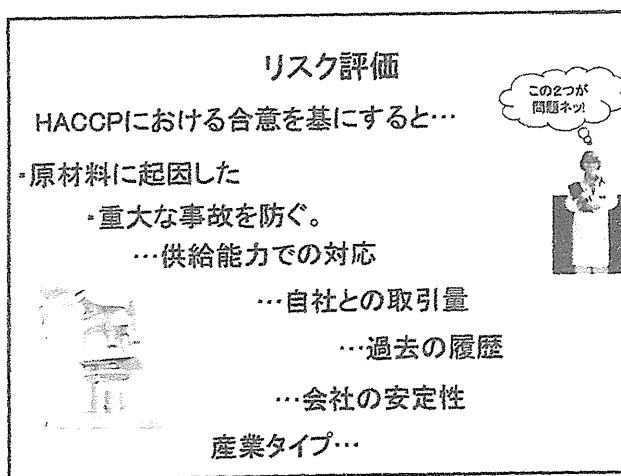
(2)取り扱い、保管及び輸送

衛生的な原材料の取り扱い、保管



輸送時の取り扱い
(品質劣化、温度、湿度管理等)





学習目標1

一般衛生管理プログラム =食品の取り扱いニ



4. 食品の取り扱い

原材料の受入から消費までを考慮して各ステップの食品の取り扱い管理を決定する。



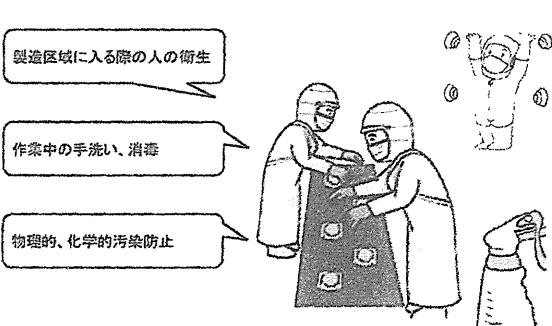
原材料受入～製造～消費まで

持込まない・汚染させない
増やさない
排除する。

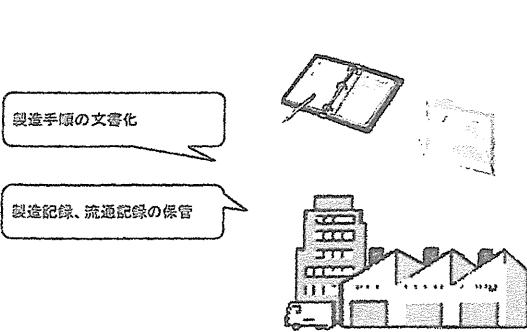
(1) 食品の危害要因の管理



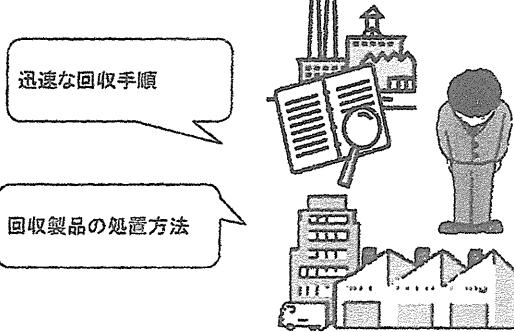
(2) 生産時の保守管理及び人の衛生



(3) 文書化および記録



(4) 回収手順



O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

- ・食品の取り扱い
- ・食品の危害要因の管理
- ・生産時の保守管理及び人の衛生
- ・文書化及び記録
- ・回収手順



もと
もと

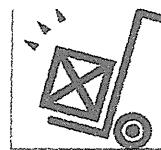
学習目標1

一般衛生管理プログラム
=食品の輸送=



(1)車両及びコンテナの必要要件

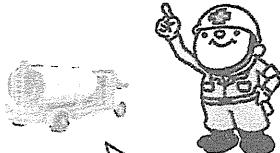
食品を汚染しない
車両



食品を汚染しないコ
ンテナ

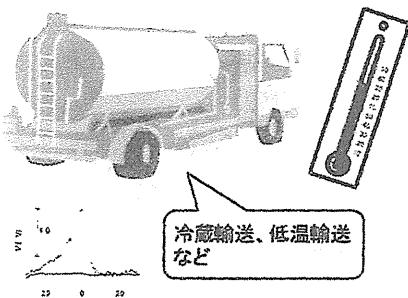
(2)車両及びコンテナの保守管理

車両の保守点検



コンテナの保守点検

(3)出荷製品の管理



冷蔵輸送、低温輸送
など

O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

=製品の輸送=

- ・車両及びコンテナの必要要件
- ・車両及びコンテナの保守管理
- ・出荷製品の管理

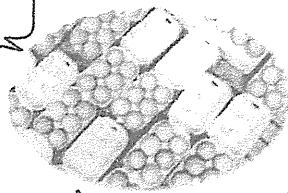


学習目標1

一般衛生管理プログラム
=製品の情報と消費者の意識=

(1)ロットの識別・製品の情報

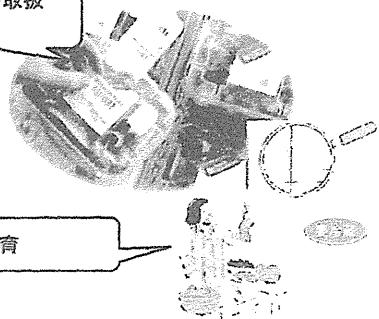
製品ロット管理



製品情報
(生産履歴等)

(2)表示・消費者教育

安全な製品の取扱
ラベル添付



消費者教育

POINT

□一般的衛生管理プログラムの確立

=製品の情報と消費者の意識=

- ・ロットの識別、製品の情報
- ・表示、消費者教育



学習目標1

一般衛生管理プログラム
=食品の取り扱い=



7.従事者の衛生

不衛生な人による食品汚染を防止する

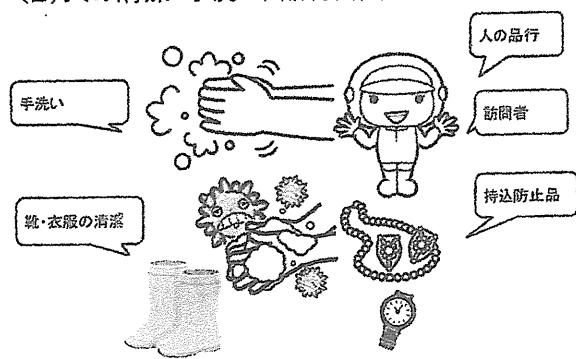


食品の取扱者は、食品に汚染しないように
健康で清潔で、必要なマナーを遵守する。

(1) 健康状態/病気、傷害



(2) 人の清潔・手洗い/品行/訪問者



O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

=従事者の衛生=

・健康状態/病気、傷害

・人の清潔・手洗い、品行、訪問者



O I N T

□一般的衛生管理プログラムの確立

・飼養衛生管理基準を基礎。

・食品衛生の一般原則、HACCPガイドラインに基づく。

・作業手順書、作業マニュアル等を用いる。

・第Ⅱ部 畜種別規範を参考。

・家畜衛生の一般原則 8要件

・一般的衛生管理プログラムの検証と修正

